

就学援助制度の認定率等の推移について

年度		平成 20	平成 21	平成 22	平成 23	※被災地からの 転入者
小学校	認定率	20.5%	21.1%	22.1%	22.5%	80.3%
	(要保護)	4.1%	4.0%	4.2%	4.0%	2.8%
	(準要保護)	16.5%	17.1%	17.9%	18.5%	77.5%
	人数	14,033人	14,237人	14,727人	14,766人	57人
	支給額	790,174千円	846,408千円	883,575千円	—	—
中学校	認定率	23.9%	24.8%	26.3%	27.5%	94.1%
	(要保護)	5.6%	5.6%	5.8%	5.8%	41.2%
	(準要保護)	18.3%	19.2%	20.4%	21.7%	52.9%
	人数	7,260人	7,725人	8,073人	8,596人	16人
	支給額	452,354千円	502,767千円	513,708千円	—	—
合計	認定率	21.6%	22.3%	23.4%	24.1%	82.9%
	(要保護)	4.5%	4.5%	4.7%	4.6%	10.2%
	(準要保護)	17.0%	17.8%	18.7%	19.5%	72.7%
	人数	21,293人	21,962人	22,800人	23,362人	73人
	支給額	1,242,528千円	1,349,175千円	1,397,283千円	—	—

※ 平成 23 年度は 7 月 1 日現在の数値。被災地からの転入者は外数。

※ 認定要件：要保護＝生活保護法による教育扶助受給者。準要保護＝前年 1 年間の給与所得控除後の額（給与所得者の場合）が所得基準額（目安額）以下であること。（児童生徒を含む 4 人家族の場合、約 2,792 千円（＝収入総額 4,168 千円）が目安額となる。）

※ 主な支給項目：給食費、学用品、修学旅行費等（東日本大震災被災地からの転入児童生徒については、災害援助費を適用）。

※ 国の補助制度が廃止・一般財源化された 17 年度以降も毎年予算を増額し、所得基準額も生活保護基準の引き下げなどに準じる引き下げを行わず、実質的に所得基準を緩和している。また、18 年度から中学校「学習確認プログラム」、20 年度から小学校「長期宿泊自然体験活動」を対象費目に加えるなど制度の拡充を図っている。

市立学校園における年間保護者負担金額と内訳（文科省への報告分）について

○ 児童・生徒1人あたりの学校教育費の保護者負担（平成21年度会計）

	私 費	内 訳
幼稚園	21,446 円	学校預り金 14,637 円 PTA会費 6,809 円 その他 0 円
小学校	64,311 円	学校預り金 63,488 円 PTA会費 556 円 その他 267 円
中学校	31,946 円	学校預り金 30,591 円 PTA会費 948 円 その他 407 円
高等学校（全日制）	69,704 円	学校預り金 64,776 円 PTA会費 3,753 円 その他 1,175 円
高等学校（定時制）	24,420 円	学校預り金 24,420 円 PTA会費 0 円 その他 0 円
総合支援学校	51,840 円	学校預り金 50,183 円 PTA会費 797 円 その他 860 円

中学校給食の喫食率について

○ 行政区別の喫食率（平成 23 年 4 月～7 月実績）

	喫食人数	喫食率	業者名
北区	666	27.4%	デリカハウス
上京区	411	32.1%	デリカハウス
中京区	733	28.8%	デリカハウス ファーストフーズ
下京区	291	27.9%	ファーストフーズ
南区	587	25.8%	ファーストフーズ
左京区	670	22.6%	デリカハウス
東山区	73	29.4%	ファーストフーズ
山科区	802	24.4%	ファーストフーズ
右京区	1,171	25.2%	デリカハウス ファーストフーズ
西京区	1,333	30.5%	ファーストフーズ
伏見区	2,437	32.7%	ファーストフーズ
全 体	9,172	28.2%	

学童う歯対策の実施状況について（児童数、治療件数の過去5年間の推移）

年度	児童数	治療件数	決算額
18年度	74,171人	126,991件	339,614千円
19年度	73,745人	124,155件	341,321千円
20年度	73,818人	121,786件	340,051千円
21年度	73,033人	116,739件	330,540千円
22年度	72,453人	116,885件	339,373千円

市立総合支援学校の児童・生徒数の推移について（学校別、小・中・高等部別、過去6年間）

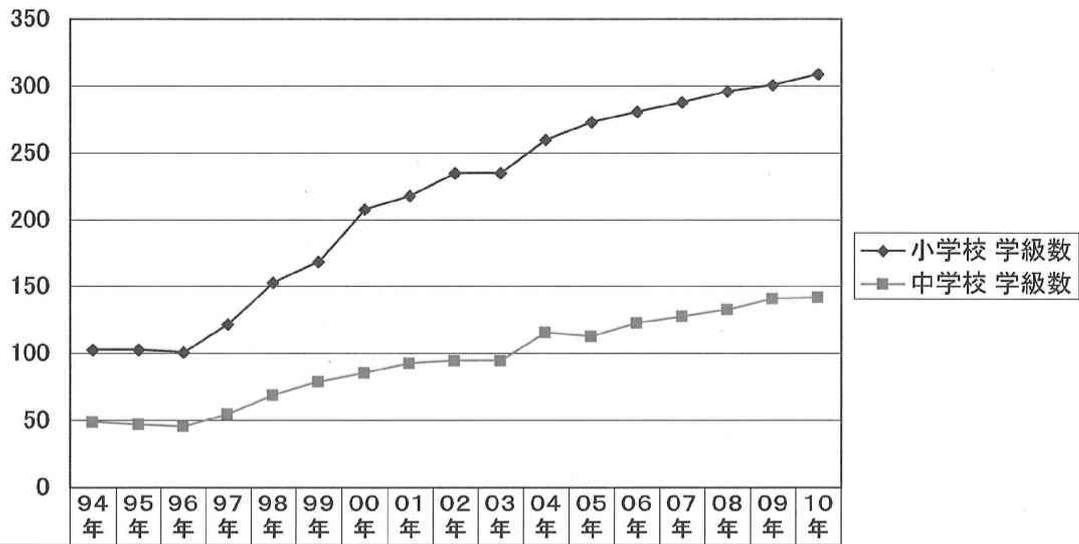
（単位：人）

学校名		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
北	小学部	68	64	77	69	71	77
	中学部	36	45	35	50	43	48
	高等部	83	84	92	89	113	99
	小計	187	193	204	208	227	224
白河	高等部	112	90	93	94	104	111
東	小学部	39	44	42	39	45	50
	中学部	22	28	36	39	42	35
	高等部	59	60	56	60	67	80
	小計	120	132	134	138	154	165
鳴滝	小学部	4	1	2	2	2	3
	中学部	3	5	6	4	4	5
	高等部	35	51	49	50	56	62
	小計	42	57	57	56	62	70
西	小学部	54	60	59	64	68	64
	中学部	26	28	35	38	46	49
	高等部	76	77	64	65	66	88
	小計	156	165	158	167	180	201
呉竹	小学部	52	43	42	43	48	53
	中学部	37	38	31	30	30	28
	高等部	67	81	84	81	81	84
	小計	156	162	157	154	159	165
桃陽	小学部	26	30	33	33	23	28
	中学部	35	32	29	37	21	20
	小計	61	62	62	70	44	48
合計		834	861	865	887	930	984

※ 数値は全て5月1日現在。

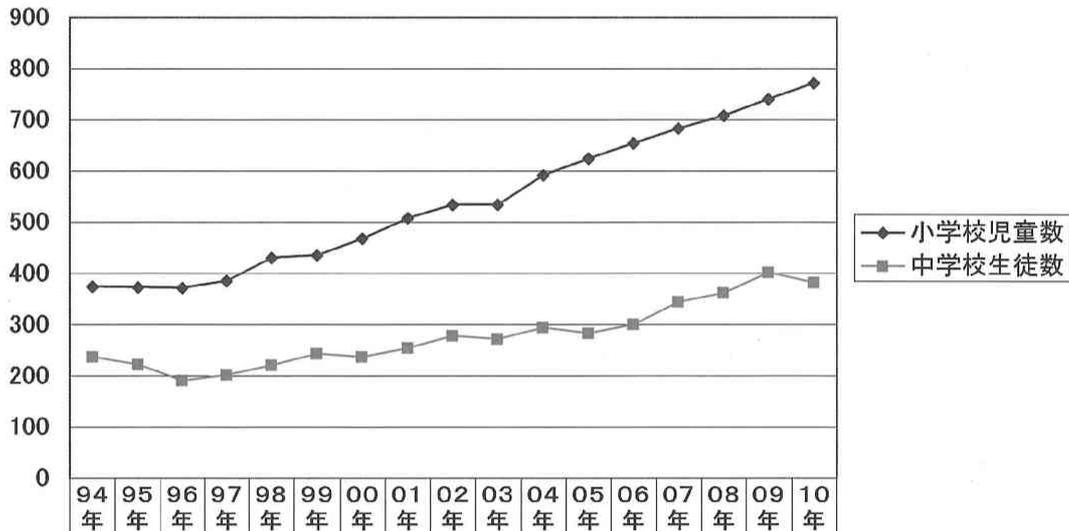
※ 白河総合支援学校は高等部のみ。桃陽総合支援学校は小・中学部のみ。

育成学級 学級数の推移(5月1日現在)



◆ 小学校 学級数	10	10	10	12	15	16	20	21	23	23	26	27	28	28	29	30	30
■ 中学校 学級数	49	47	46	55	69	79	86	93	95	95	11	11	12	12	13	14	14

育成学級 児童・生徒数(5月1日現在)



◆ 小学校児童数	37	37	37	38	43	43	46	50	53	53	59	62	65	68	70	74	77
■ 中学校生徒数	23	22	19	20	22	24	23	25	27	27	29	28	30	34	36	40	38

政令市における公立図書館の蔵書数の状況

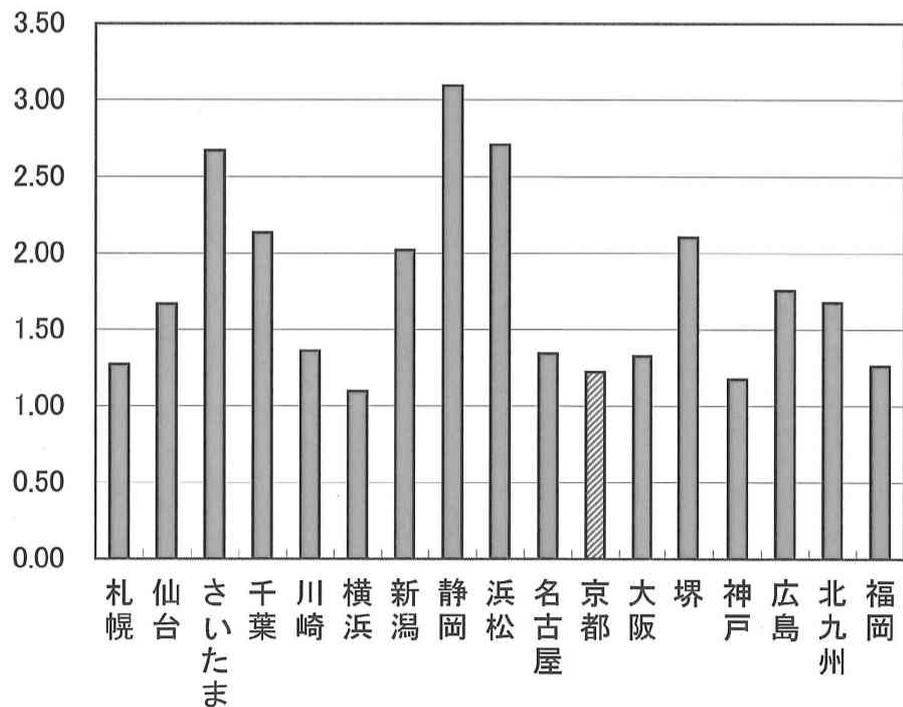
	人口(H20・10・1)	公市立図書館数	蔵書数	内、市立図書館	市立図書館蔵書数	市民ひとり当たり図書冊数
札幌	1,898,473	40	2,414,187	40	2,414,187	1.27
仙台	1,031,163	9	2,795,641	7	1,720,247	1.67
さいたま	1,200,739	24	3,676,547	23	3,207,514	2.67
千葉	947,223	8	2,869,896	7	2,021,238	2.13
川崎	1,390,270	13	2,132,123	12	1,895,223	1.36
横浜	3,651,428	19	4,771,036	18	4,006,052	1.10
新潟	812,034	19	2,341,559	18	1,640,594	2.02
静岡	709,673	12	2,856,553	11	2,196,152	3.09
浜松	813,184	22	2,202,965	22	2,202,965	2.71
名古屋	2,247,752	21	3,983,807	20	3,017,840	1.34
京都	1,467,313	22	2,980,703	20	1,795,187	1.22
大阪	2,652,099	25	4,065,507	24	3,520,517	1.33
堺	836,098	12	1,759,275	12	1,759,275	2.10
神戸	1,533,034	11	1,804,211	11	1,804,211	1.18
広島	1,166,547	15	2,766,679	13	2,048,257	1.76
北九州	984,953	17	1,650,203	17	1,650,203	1.68
福岡	1,437,718	11	2,533,791	10	1,815,332	1.26

平成20年度 大都市比較統計年表より

市立図書館の蔵書数

	市民ひとり当たり図書冊数
札幌	1.27
仙台	1.67
さいたま	2.67
千葉	2.13
川崎	1.36
横浜	1.10
新潟	2.02
静岡	3.09
浜松	2.71
名古屋	1.34
京都	1.22
大阪	1.33
堺	2.10
神戸	1.18
広島	1.76
北九州	1.68
福岡	1.26

市立図書館蔵書冊数(市民ひとり当たり)



・ 学校施設の耐震化の状況について（校種別・棟数・耐震不要棟数・耐震工事済棟数・達成率・未補強棟の計画年度）

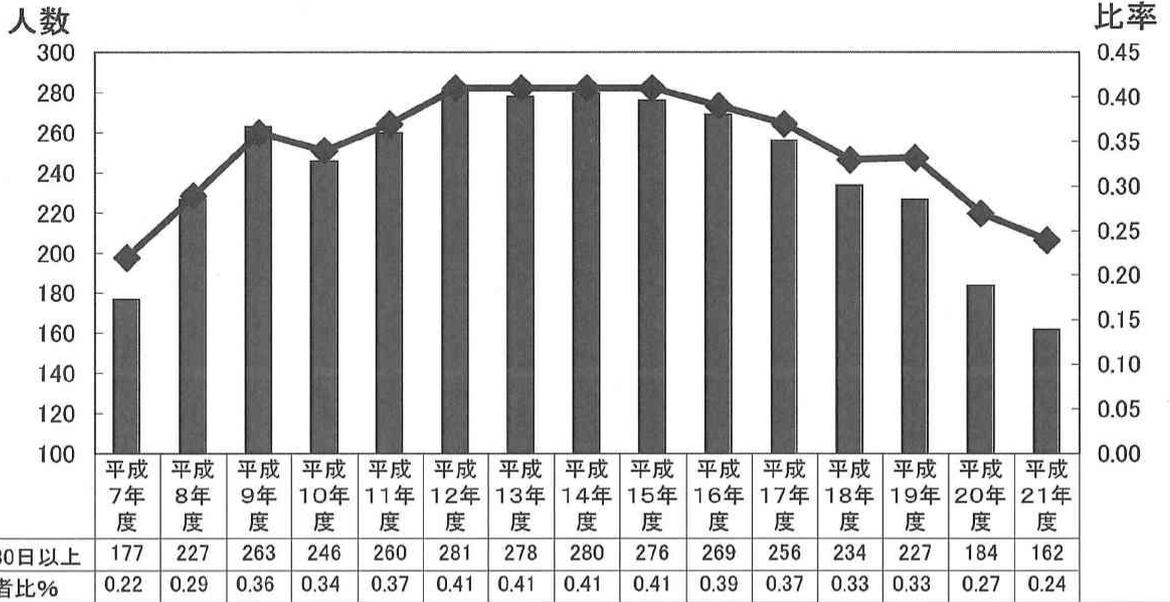
（平成22年度末予定）

校種		棟数 (a)	耐震不要棟数 (b)	耐震工事済棟数 (c)	達成率 (d)=(b)+(c)/(a)
小学校	校舎	801	296	477	96.5%
	体育館	179	134	43	98.9%
中学校	校舎	354	143	209	99.4%
	体育館	72	53	19	100.0%
高等学校	校舎	73	19	14	45.2%
	体育館	13	11	2	100.0%
総合支援学校	校舎	30	19	11	100.0%
	体育館	7	5	2	100.0%
幼稚園	園舎	17	6	11	100.0%

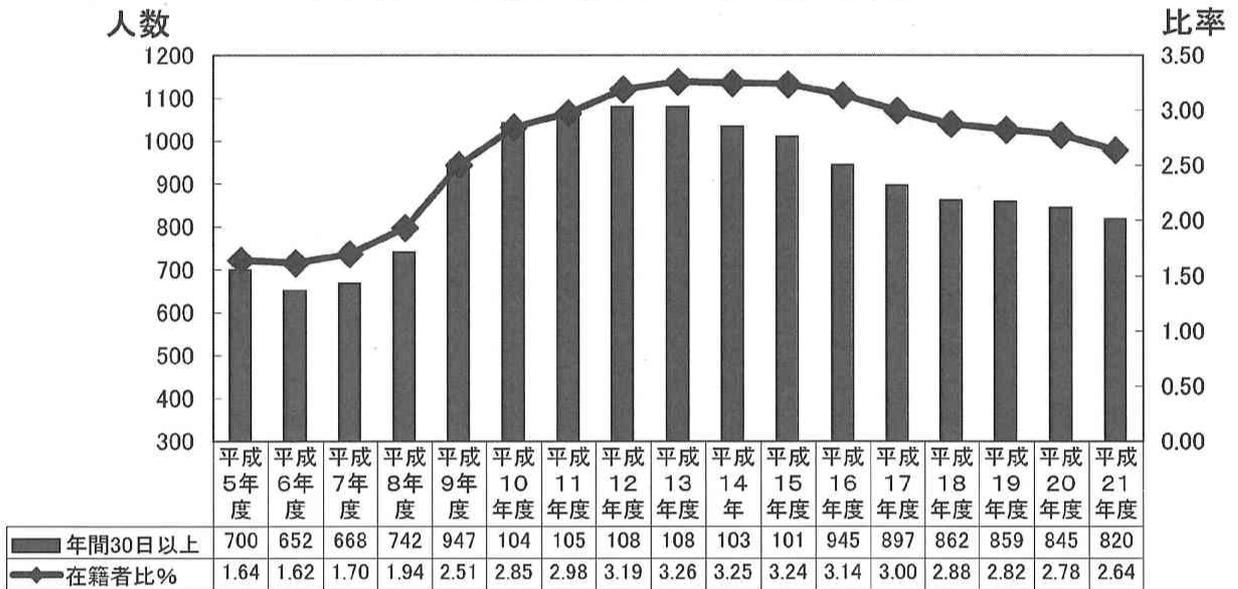
※ 表中「耐震不要棟数」について、昭和57年以降の建築棟数及び耐震診断の結果、耐震補強が不要と診断された棟数を合わせた棟数。

※ 耐震未補強棟について、平成22年度中に34校園・131棟の耐震化を図る予定であり、学校統合等が議論されている学校や改築を計画している学校等の特別な場合を除き、全ての学校施設の耐震化に着手する予定である。なお、高等学校については、平成22年度中に耐震補強が必要な6校中3校で耐震化を図る予定であるが、残る3校については市立高校改革の進ちょく状況も踏まえ、対応を検討していく。

小学校 不登校児童(30日以上)の推移



中学校 不登校生徒(30日以上)の推移



京都市内の文化・スポーツ・青少年関連施設

	地域文化会館	青少年活動センター	いきいき活動センター
北区	北文化会館	北青少年活動センター	北いきいき市民活動センター
上京区			
左京区			岡崎いきいき市民活動センター 左京東部いきいき市民活動センター 左京西部いきいき市民活動センター
中京区		中京青少年活動センター	中京いきいき市民活動センター
東山区		東山青少年活動センター	東山いきいき市民活動センター
山科区	東部文化会館	山科青少年活動センター	
下京区		下京青少年活動センター	下京いきいき市民活動センター
南区		南青少年活動センター	吉祥院いきいき市民活動センター 上鳥羽南部いきいき市民活動センター 上鳥羽北部いきいき市民活動センター
右京区	右京ふれあい文化センター		
西京区	西文化会館ウエスティ		
伏見区	呉竹文化センター	伏見青少年活動センター	伏見いきいき市民活動センター

	その他スポーツ施設	その他文化施設
北区		
上京区		
左京区	宝が池公園運動施設 武道センター	みやこめっせ/京都会館 京都コンサートホール 京都市美術館 京都市動物園
中京区		元離宮二条城 京都芸術センター
東山区		円山公園音楽堂 無隣庵
山科区		
下京区		(アバンティホール廃止 2010年3月)
南区		
右京区	京都市体育館	
西京区	西京極総合運動公園	
伏見区	横大路運動公園 (野球場、洋弓場、体育館)	久世ふれあいセンター

地域体育館配置計画一覧

区分	名称
条例に基づく 地域体育館	京都市東山地域体育館 京都市山科地域体育館 京都市右京地域体育館 京都市桂川地域体育館 京都市伏見北堀公園地域体育館 京都市醍醐地域体育館
その他	京都市北文化会館 京都市障害者教養文化・体育館 京都市市民スポーツ会館 府立体育館第2競技場 京都府民総合プラザ
未整備	(中京区二条駅周辺地域体育館) (左京区地域体育館) (西京区洛西地域体育館)